

平成 16 年 11 月 19 日

各 位

会社名 常磐開発株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 住吉 勝馬  
 (登録銘柄 コード番号 1782)  
 問合せ先 取締役総務部長 榎原 清隆  
 T E L . 0 2 4 6 - 7 2 - 1 1 1 1

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 5 月 26 日の決算発表時に公表した平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 17 年 3 月期中間業績予想数値（単独）の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）  
 (単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	2,400	210	212
今回修正予想(B)	1,864	230	205
増減額(B-A)	536	20	7
増減率(%)	22.3	9.5	3.3
(ご参考) 前期実績(平成 16 年 3 月期中間)	2,223	189	183

2. 平成 17 年 3 月期中間業績予想数値（連結）の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）  
 (単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	3,330	250	260
今回修正予想(B)	2,737	310	293
増減額(B-A)	593	60	33
増減率(%)	17.8	24.0	12.7
(ご参考) 前期実績(平成 16 年 3 月期中間)	2,639	229	236

### 3. 平成 17 年 3 月期中間業績予想の修正の理由

#### (1) 単独

売上高が、536百万円減少した理由は、当初見込んでおりました物件が下期完成工事に繰り越した要因による減少であります。

経常利益が、20百万円減少した理由は、完成工事の繰越しに伴う要因による減少であります。

当期純利益が、7百万円増加した理由は、特別損益34百万円（主な特別利益：固定資産売却益130百万円、主な特別損失：投資有価証券評価損37百万円、貸倒引当金繰入額47百万円、過年度工事補償費30百万円）の増加に伴う要因であります。

#### (2) 連結

売上高が、593百万円減少した理由は、単独の売上高が536百万円減少したことと、連結子会社の売上高の57百万円が下期完成工事に繰り越した要因による減少であります。

経常利益、当期純利益の減少した理由は、単独の要因によるものと、連結子会社の完成工事の繰越しに伴う減少であります。

### 4. 平成 17 年 3 月期通期業績予想数値（単独）の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、%）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	8,500	140	70
今回修正予想(B)	8,500	80	100
増減額(B-A)	-	60	30
増減率(%)	-	42.9	42.9
（ご参考） 前期実績（平成 16 年 3 月期）	8,116	160	133

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 12円74銭

### 5. 平成 17 年 3 月期通期業績予想数値（連結）の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、%）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	10,900	240	160
今回修正予想(B)	10,900	190	200
増減額(B-A)	-	50	40
増減率(%)	-	20.8	25.0
（ご参考） 前期実績（平成 16 年 3 月期）	9,656	305	237

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 27円26銭

### 6. 平成 17 年 3 月期通期業績予想の修正の理由

#### (1) 単独

売上高の予想数値の修正はありません。

経常利益が、60百万円減少した理由は、完成工事の受注競争の激化に伴う利益率の減少による要因であります。

当期純利益が30百万円増加した理由は、経常利益が60百万円減少いたしましたが、特別損益（中間期単独修正理由による要因）と法人税等の見込額60百万円の減少に伴う要因であります。

#### (2) 連結

売上高の予想数値の修正はありません。

経常利益の減少及び当期純利益の増加については、主に単独の修正に伴う要因によるものであります。

以 上